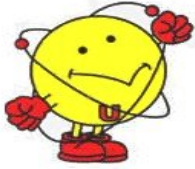


にんぎょうとうげ



発行：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
 バックエンド研究開発部門
 人形峠環境技術センター 総務課
 岡山県苫田郡鏡野町上齋原1550番地
 電話 0868-44-2211 FAX 0868-44-2502
 HPアドレス <http://www.jaea.go.jp/04/zningyo/index.html>

平成27年度 事業報告

人形峠環境技術センター(以下「センター」という。)は、平成27年度も安全確保を最優先に、施設・設備の廃止措置及び廃止措置関連技術開発等を進めました。

これらの事業内容については、正確な情報発信に努めるとともに、地域社会との共生に努めました。

平成27年度のセンターの実施状況は以下のとおりです。

1. 事業(開発・研究等)に関すること

1. ウラン濃縮原型プラントは、遠心分離設備の滞留ウラン回収試験を終了しました。
2. 製錬転換施設は、ウラン廃棄物の安全かつ適切な管理のため、過去に廃棄物を充填し保管していたドラム缶型専用容器中の内容物の詰替え並びに廃棄物のインベントリ調査及びウラン量の測定等を継続しました。
3. 濃縮工学施設は、150台の処理を目標として遠心機処理を継続するとともに、第2回クリアランス確認検査を受検しました。澱物の処理プロセスの設定検討に必要な試験の継続並びに試験場所確保のためにOP-1UF6操作室等の主要設備の一部の解体・撤去工事を継続しました。
4. 鉱山関連施設は、安全な維持管理を継続しました。鉱さいたい積場上流部の跡措置工事の効果を検証するため、モニタリングを継続するとともに、今後の措置に必要な調査・検討を継続しました。
5. センター各施設、設備及び廃棄物の安全かつ適正な管理を継続しました。
6. ウラン及びウラン廃棄物対策についての検討を継続しました。

7. 東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の収束に向けた対応として、環境修復の技術開発やコミュニケーション活動等への人員派遣の支援を継続しました。

2. 安全確保・環境保全に関すること

1. 「業務・品質マネジメントシステム」は、内部監査等の実施により適正な運用を継続し、安全確保、法令遵守を徹底しました。
2. 計画的なエネルギー管理、省資源を推進し、地球温暖化防止等の環境に配慮した事業活動を継続しました。

3. 地域・社会への対応に関すること

1. 地域産業であるウランガラス製造の原料提供等の地域振興への支援、説明会等への対応、広報紙の配布等を継続し、地域との積極的なコミュニケーションを図り、地域社会との共生に努めました。
2. 地元大学、高専、鏡野町との環境シンポジウム開催等による連携協力の強化、地元民間企業との交流を図り、産学との連携交流の推進を継続しました。
3. インターネットホームページ等を活用し、センター事業内容の紹介、研究開発成果及び環境モニタリングデータ等の情報公開を継続して実施し、適時、分かり易い情報発信により、地域社会の理解と安心の向上に努めました。

(計画管理室)

『こども科学実験教室実施』

2月27日、センター近隣市町村の小中学生を対象に「こども科学実験教室」を開催しました。

放射線についての講義や、霧箱で放射線の飛跡を観察したり、



放射線の講義



光るバッジ作成

光るバッジの作成・実験を行いました。今後もこのような実験教室等の広報活動を実施したいと思えます。

(総務課)

課室紹介

～ 総務課 ～

総務課は平成26年4月1日に労務課と統合し、協力会社を含め総勢約50人で構成し、センター内の様々な業務を行っています。

主な業務内容は、センター構内の警備業務、構内維持管理や公用車運転管理、広報・報道を担当する総務グループと人事、給与、福利厚生、健康管理等を担当する労務グループで構成し、業務が多岐に渡り、センター内の縁の下の力持ちとして

業務を行っています。

業務の関係上、課員全員で顔を合わせる機会は多くありませんが、小椋課長を筆頭に「明るく元気よく」に心掛け、総務課一丸となって業務を行っています。

今後とも総務課一丸となり、着実な業務を行っていきますので、よろしくお願いいたします。



明るく元気よく



総務課の皆さん

国際原子力機関 (IAEA) 協カシンポジウム開催

岡山大学、鏡野町及びJAEAの三者連携及び同大学とIAEAとの協力協定が昨年締結されたことを受け、3月4日に岡山大学でシンポジウムが開催されました。

前半は、IAEAによる放射性廃棄物管理及びそれに必要な信頼醸成のためのステークホルダー関与について、後半は、IAEAの放射線の医学への適用に係る取組みや、岡山大学等が行っている癌治療法であるホウ素中性子補足療法 (BNCT) について講演がなされました。

後半の講演に係る岡山大学関係者や学生を中心に、

他大学やJAEA人形峠等から約150名が聴講し、専門的かつ活発な議論がなされました。

また、閉会後には会場を移して情報交換会が開催され、有志が集結し、講演に続いて議論が繰り広げられ、参加者同士、理解や交流を深めました。(計画管理室)

